

2019年度海外FD研修について

2019年度の海外FD研修は、9月下旬に開催される本学での国際FDセミナー、11月上旬に北米での研修、帰国後報告会で構成されています。北米での研修前半はUCデービスにおいて、授業見学を中心とした教授法などの研修に参加し、後半は希望の研究室を訪問し、大学院生の指導法や研究室の運営法について調査します。なお、後半の研修は、希望者のみの参加となります。

<研修先>

[米国カリフォルニア大学デービス校 \(University of California, Davis.\)](#)

カリフォルニア大学デービス校は、1908年にバークリー校の農業専門学校として開校し、その後、カリフォルニア大学システム11校の1つとなった。総合研究大学として、学生37,847人(2019年現在)を有し、多様な学部学位と修士/博士学位を授与している。2019年QS World University Rankingsでは、100位、Times Higher Educationでは59位を獲得している。また、大学院教育研究環境の良さのみならず、国際性や多様性などの点においても優れている。農学/環境科学部、生物科学、人文科学部、工学部から構成され、特に農学、生物学、バイオテクノロジー学、環境科学の分野においては非常に高い教育で定評がある。

<プログラムスケジュール(予定)>

1. 研修オリエンテーション(7月)
2. 国際FDセミナー(本学にて開催)への参加(9月30日(月))
3. 出発前オリエンテーション(10月中旬~下旬)
4. 海外FD研修参加(11月上旬)

(ア) 米国カリフォルニア大学デービス校 (3日間)

UCデービスにおいて、授業見学*を中心とした研修を行う。大学および大学院レベルの理工系の授業を聴講するとともに各教科担当者との面談を行う。

※ 見学希望科目については、[こちら](#)をご参照ください。

(イ) 海外ラボステイ(3-5日間) ※希望者のみ

UCデービスまたは他大学(北米)にある希望の研究室を訪問し、大学院生への指導法や、研究室の運営法などを調査する。

5. 帰国後報告会(3月)

<募集人数・対象者>

1~4名程度

助教以上の教員

※ 応募者多数の場合は、研究科において選考させていただきます。

<参加申込について>

申込書は[こちら](#)

申込受付期間：2019年5月31日（金）～6月14日（金）

申込書提出先：教育連携部門（DGE）（kokusai[[@](mailto:kokusai@ad.naist.jp)]ad.naist.jp）※Emailにて提出

担当：教育推進機構 教育連携部門（DGE） （内線 6243）